

教科等研究会（小学校特別活動部会）

令和5年度 研究活動のまとめ

1 研究テーマ

よりよい集団や社会の形成に向けた生きて働く力を育てる特別活動の創造
～特別活動で笑顔あふれる学校に！～

2 研究経過

第1回			第2回			第3回			第4回		
6月 22日	5名	嘉島東 小学校	8月 1日	嘉島東 小学校	実技研	12月 26日	嘉島東 小学校	県大会 準備	2月 1日	嘉島東 小学校	県大会

3 研究の概要

(1) 研究の内容

①主題設定の理由

これからの子どもたちには、予測困難な社会の変化に主体的に関わり、豊かな感性を持って自分と周囲の人、各々の生き方を認め合いながら、よりよい社会、よりよい人生をどのように切り開いていくかを自ら考え、実践できる力を身に付けていくことが重要となる。近年、様々な社会的・文化的背景をもつ他者と共に生活することが急速に身近になりつつある。また、実際に他者と対面する物理的空間だけでなく、インターネットなどを通じた仮想的空間での他者との関わりも増え、地域や国という境界を越えて人と人とのつながりが広がっている。この社会の変化において、児童は、多様な他者と関わり、今までに経験したことも見たこともない文化に向かって生きている。このように、人と人の関わり方も変容していく社会において、児童には自立した人間として他者とよりよく協働することができる資質・能力が求められている。そのため、これからの社会で多様な他者と関わり合って生きるためには、寛容さをもち、自己と他者を同時に尊重しながら、異なる意見や考え方をもとに新たな価値を創造的に生み出す力が求められている。

特別活動では、学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事等のよりよい集団活動を通して、学校生活を送る上での基盤となる力や社会で生きて働く力を育てていく。よりよい集団活動は、自分と異なる文化、習慣、生き方を認め合う土壌や協働性、集団への所属感、連帯感を育むことにつながる。それが学級文化、学校文化を醸成し、特色ある教育活動の展開を可能とする。

今回の学習指導要領の改訂では、小学校、中学校ともに（1）の内容を重視することが示されている。そこで、研究のテーマを「よりよい集団や社会の形成に向けた生きて働く力を育てる特別活動の創造」とした。合意形成を行いながらよりよい方法で集団決定していく学級活動（1）の内容は、よりよい集団や社会を形成をしていく上で欠かせないものであり、研究テーマは今回の改訂の内容に沿うものと言える。よって、学級活動（1）の実践を中心にして、互いのよさや可能性を發揮し、生かし、伸ばし合う「よりよい集団」を目指して研究を進めることとした。

②サブテーマについて

新型コロナウイルス感染症の流行により、現在当たり前にできていた集団活動の多くが制限をされることとなった。さらに、教師の働き方改革を推進するために行事の精選も行われている。このような情勢を受けて行事や集団活動が縮小されている昨今だが、一方で、その価値、必要性を強く実感する機会となったのではないだろうか。文部科学省の調査によると、令和3年度の不登校児童生徒数は過去最多となっている。学校から、「楽しい」「わくわくする」という魅力が失われつつあるのかもしれない。

そこで、児童が自ら計画実践し、学級、学校をよりよくしていこう、楽しくしていこうという集団活動を行う特別活動で、もう一度、笑顔あふれる学校を創造していきたい、集団活動を通して、約束やきまりなどを守ることの大切さ、みんなと一緒に活動する楽しさ、他者に対して行ってよいことや悪いことを自覚することなどを学びながら、互いに信頼し支え合い、楽しく豊かな学級や学校の生活づくりを自ら作り出す児童を育成したいと考えた。

(2) 成果と課題

- 特別活動の県大会で、実践発表ではなく授業を公開できたことは、大きな成果だと言える。公開授業を行ったことで、講師からも様々な助言をいただくことができ、これまでの研究について課題を整理することができた。
- 「理由を大切にした学級会」という話し合い活動の中で目指す児童の姿を明確にして取り組むことができた。これにより、事前活動での司会グループへのアドバイスや、話し合い中の教師の介入の在り方もより適切に行うことができた。
- 児童にとって話し合いをするに値する議題となっているか、今一度考える必要がある。議題が学級や学校での生活をよりよくするため、児童が共通して取り組むべき課題となっているのかどうか、研究を深めていきたい。
- 特別活動のよさや必要性をより多くの人と共有したい。

4 実践事例

授業の概要

題材名	議題「6年間の感謝を伝えるプロジェクトをしよう」																																																					
題材の目標	<p>○学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。</p> <p>○学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を尊重したり、生かしたりして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。</p> <p>○生活上の諸問題の解決や、協働して実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。</p>																																																					
題材終了時の児童の姿	学級会で決まったことをもとに、みんなで協力し、学校やお世話になった人たちへの感謝の気持ちを伝えようと進んで活動に取り組むことで、6年間の自己の成長を実感し、進学への意欲を高める児童。																																																					
題材を通した学習課題	6年間の感謝を伝えるために、みんなで協力して「卒業プロジェクト」を成功させ、卒業に向けてさらに学級の絆を深めよう。																																																					
働かせる見方・考え方	よりよい学級・学校づくりのために、互いのよさを認め合いながら、集団における活動に積極的に関わり、主体的に解決しようとする事。																																																					
児童の実態	<p>■学力（資質・能力）に関する実態（男子24名 女子17名 計41名）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査内容</th> <th>とても</th> <th>まあまあ</th> <th>あまり</th> <th>まったく</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>友達の発表を、最後まで聞くことができているか。</td> <td>20名</td> <td>18名</td> <td>3名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>自分の考えを発表していますか。</td> <td>11名</td> <td>17名</td> <td>13名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>自分の考えに理由をつけて発表できていますか。</td> <td>21名</td> <td>15名</td> <td>5名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>みんなで決めたことに協力して行っていますか。</td> <td>31名</td> <td>10名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> </tr> </tbody> </table> <p>■本題材の学習に関する意識の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査内容</th> <th>とても</th> <th>まあまあ</th> <th>あまり</th> <th>まったく</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>話し合い活動が好きですか。</td> <td>18名</td> <td>14名</td> <td>9名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>学級会でみんなの意見がまとまってよかったと思うことがある。</td> <td>26名</td> <td>11名</td> <td>4名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>友だちの意見を聞いて、自分の意見を考え直すことがある。</td> <td>11名</td> <td>22名</td> <td>8名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>学校や人のために活動することが楽しみですか。</td> <td>19名</td> <td>17名</td> <td>5名</td> <td>0名</td> </tr> </tbody> </table>				調査内容	とても	まあまあ	あまり	まったく	友達の発表を、最後まで聞くことができているか。	20名	18名	3名	0名	自分の考えを発表していますか。	11名	17名	13名	0名	自分の考えに理由をつけて発表できていますか。	21名	15名	5名	0名	みんなで決めたことに協力して行っていますか。	31名	10名	0名	0名	調査内容	とても	まあまあ	あまり	まったく	話し合い活動が好きですか。	18名	14名	9名	0名	学級会でみんなの意見がまとまってよかったと思うことがある。	26名	11名	4名	0名	友だちの意見を聞いて、自分の意見を考え直すことがある。	11名	22名	8名	0名	学校や人のために活動することが楽しみですか。	19名	17名	5名	0名
調査内容	とても	まあまあ	あまり	まったく																																																		
友達の発表を、最後まで聞くことができているか。	20名	18名	3名	0名																																																		
自分の考えを発表していますか。	11名	17名	13名	0名																																																		
自分の考えに理由をつけて発表できていますか。	21名	15名	5名	0名																																																		
みんなで決めたことに協力して行っていますか。	31名	10名	0名	0名																																																		
調査内容	とても	まあまあ	あまり	まったく																																																		
話し合い活動が好きですか。	18名	14名	9名	0名																																																		
学級会でみんなの意見がまとまってよかったと思うことがある。	26名	11名	4名	0名																																																		
友だちの意見を聞いて、自分の意見を考え直すことがある。	11名	22名	8名	0名																																																		
学校や人のために活動することが楽しみですか。	19名	17名	5名	0名																																																		

	<p>■考察 (資質・能力に関して) 児童の多くは、自分の考えに理由付けしながら話すことを意識している。しかし、理由に自信がもてずに発表を控える児童がいたり、進んで発表する児童とそうでない児童とに差があったりする。そのため、事前に出されたアイデアを公開することで、賛成反対の意見や理由を考える時間を確保し、多様な意見が出されるよう工夫したい。また、話合いが深まるように、同じアイデアに対する意見を優先して聞いたり、「今の意見についてどう思いますか」と司会がつけたりしていくようにする。</p> <p>(学びに関して) 話合い活動については、特に司会に難しさを感じている児童が多く、自信をもって会を進められるように事前に打ち合わせを行っていききたい。決まったことについては準備や活動も学級全体で協力して行うことができ、プロジェクトを楽しみにしている児童も多い。</p>
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が意欲的に話合いを行えるように、活動の目的や意義をはっきりさせて提案理由を示すようにする。 ○アイデアや話合いのヒントとなるように、あらかじめ5年生にアンケートをとり、児童へ示す。 ○自信を持って自分の考えを発表できるようにするために、事前に学級会ノートに考えを記入させ、あらかじめ内容を把握しておく。また、事前にアイデアを短冊に書いて掲示することで、賛成反対の意見も考えられるようにする。 ○話合いを円滑に進めるために、事前に司会と話合いの流れを確認しておく。 ○賛成反対の理由を可視化するために、理由の要点をカードに書いて貼っていく。また、話合いの途中で意見を整理する時間をとる。 ○偏った意見だけにならないように、司会が違う意見がないか尋ねて発表を促したり、ペアで相談し合う時間を設けたりする。 ○今後も話合い活動への意欲や多様な意見のよさを認め合えるようにするため、司会や記録の仕事ぶりや相手の考えや立場を理解した発言などを紹介し称賛する。また、実践活動だけでなく、活動の写真や事後のアンケート等を使った振り返りも大切に行っていく。
参観者からの意見・感想	<ul style="list-style-type: none"> ○全員が友達の意見を踏まえて意見を伝えようとしているのが伝わってきた。「つなげる」という意識を自分も大切にしていきたい。 ○自分の思いを相手に伝える児童が育っていた。 ○児童の話合いへの意欲の高さと発言内容の深さに感心させられた。 ○教師の介入の仕方が良かった。 ●提案理由への解釈が一人一人違ったように感じた。提案理由の細かい部分まで全員で共通理解しておくことが大切だと感じた。 ●議題について、児童が本当に話し合わなければならない議題として捉えてよいのか疑問に思った。 ●学級目標や提案理由を踏まえた意見がもっと出ると良かった。

本時の学習
目標

卒業プロジェクトの実践に向けて、内容を考え、多様な意見を認め合い、よさを生かし合いながら話し合うことができる。

第9回 学級会 計画	
議題	6年間の感謝を伝える卒業プロジェクトをしよう
提案理由	<p>5年生とは、これまで委員会やクラブ活動、登校班など、いろんなことで一緒に頑張ってきました。そんな5年生が、来年度の広安西小をもっと良くしてくれるように、広安西小のリーダーのバトンを渡したいです。また、6年生として気をつけてほしいことや大切にしてほしいことをアドバイスとして伝えたいと思いました。みんなで協力してやり遂げられれば、来年度の広安西小学校がもっと良くなるし、学級目標の「夢や目標に向かって自分からチャレンジする6年3組」の姿も見せられると思います。</p> <p>ポイント○5年生がリーダーとしてのやる気が出る取組 ○5年生の不安をへらしアドバイスになる取組(大事なこと、大切にしたいこと)</p>

柱	5年生に向けて行う取組を考える		
めあて	相手の意見を聞いて、つなげて、理由を大切に話合いをしよう。		
決まっていること	○3月8日(金)の5時間目に5年3組との交流会をする。 ○決まったことを分担して、2月13日(火)～22日(木)の2週間で準備を行う。 ○活動後には、6年生になるのが楽しみになったか、やる気が出たか、5年生にアンケートをとる。		
過程	学習活動 (◇司会者の発言、・予想される児童の発言)	指導上の留意点と評価 (○：留意点、【】：評価)	備考
導入 7分	1 はじめの言葉 2 役割紹介 3 議題と提案理由の確認 4 決まっていることと柱の確認 5 めあての確認 6 先生の話	○司会グループに自分のめあてが言えるように事前に指導をする。 ○活動の意義や目的を確認できるように、提案理由を確認する。 ○話合いへの意欲が高まるように、1年との交流の写真を提示する。	学級 会 セット 学級 会 ノート
展開	7 話合い ○6年生の行事クイズ ○行事カレンダー ○行事の劇 ○リーダー証 ○一緒にあいさつ練習 ○自学の仕方 ○グループで話を聞く ○不安帳 ◇出されたアイデアに質問はありませんか。 ◇賛成・反対などの意見を発表してください。 ◇「行事の紹介」は意見が多いので、すると決めて良いですか。どの方法で紹介しますか。 ・写真があると分かりやすいので、私はカレンダーにして写真と一緒に伝えるがよいと思います。 ・クイズにした方が、飽きずに聞いてくれると思います。 ・私は、リーダー証に賛成です。やる気が出て、学校を引っ張る気持ちになってくれると思います。 ・不安帳に書くより、実際にグループで心配なことを聞いたらいいと思います。 ◇○○は決定でいいですか？ ◇話合いの結果、○○ということになりました。これでいいですか。	○話合いの時間を管理できるように、司会にタイマーを用意しておく。 ○賛成・反対が分かりやすいように、短冊の下に理由を書いて色分けしたカードを貼っていく。 ○賛成・反対の意見が出にくい場合は、児童が考えを整理できるように、近くの人と話し合う時間や考える時間をとる。 ○話合いが深まるように、どのアイデアへの意見か伝えて手を挙げさせる。 ○児童が内容を理解するために、話合いの途中で意見を整理する時間をとる。 ○偏った意見だけにならないように、司会が違う意見がないか尋ねて発表を促したり、ペアで相談し合う時間を設けたりする。	司 会 助 け ノ ー ト 短冊 賛成反対 カ ー ド
まとめ	8 決まったことの発表 9 振り返り 10 先生の話 11 おわりの言葉	○今後の活動意欲向上のため、司会の仕事ぶりや話合いの仕方、発言内容について称賛する。	

【具体の評価規準】思①(観察)
 友だちの意見と自分の考えを比べながら聞き、折り合いをつけながら提案理由を基に話し合っている。
 (到達していない児童への手立て)
 学級会ノートを確認させたり、友達の意見に対して、共通点や相違点を尋ね発表を促したりする。

【期待される学びの姿】
 提案理由に沿って、一人一人の思いを大切にしながら、創意工夫を生かして活動内容について考えている。